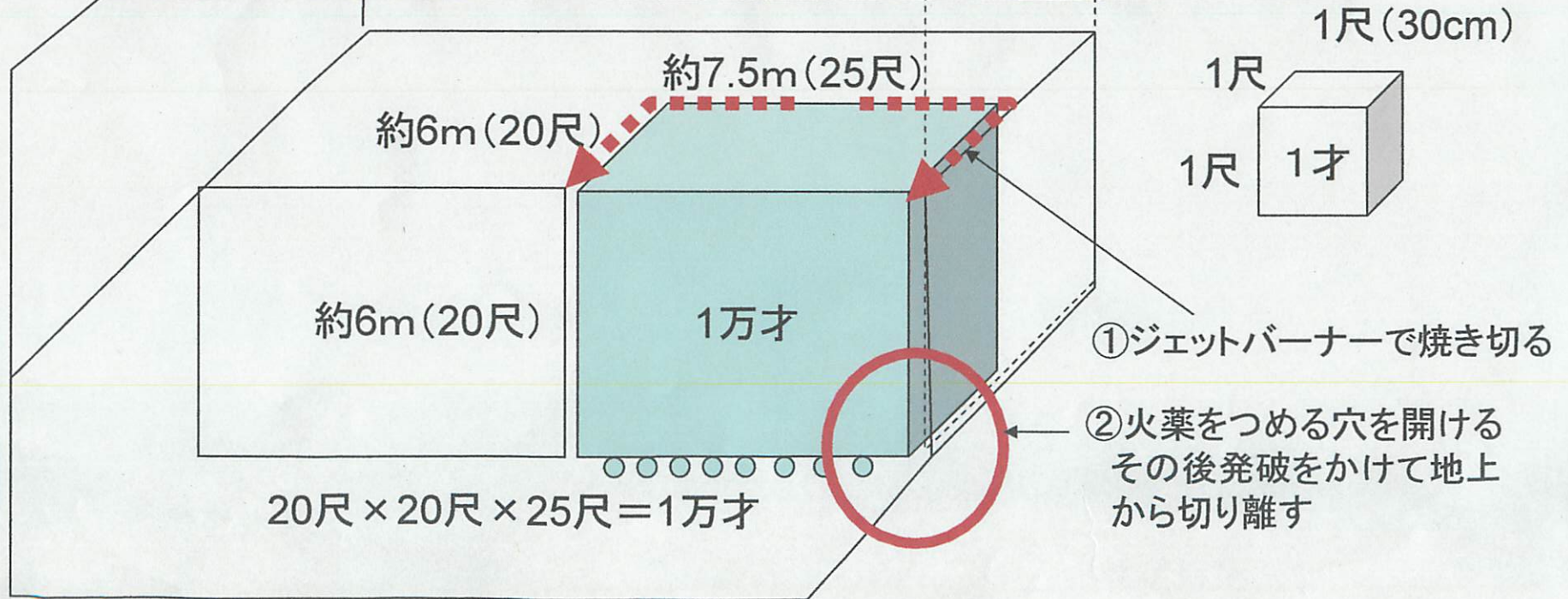


# 石材採掘の様子







## 鶴田丁場

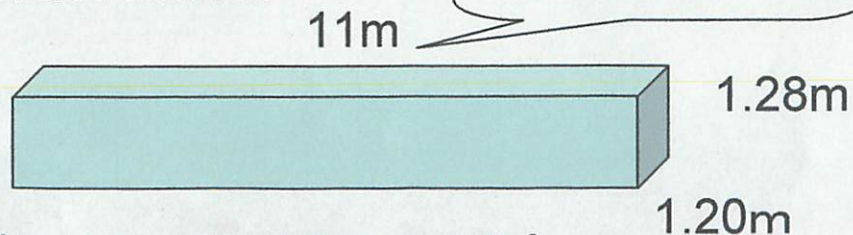
### 石切の工程

1. ボーリングと発破  
石を岩盤から切り離す。
  - ・岩盤の周囲の土を取り除き、切り出し方を決める。
  - ・ジェットバーナーで切り取りたい大きさに溝を掘る
  - ・溝の底から水平に削岩機で、煙硝穴を開ける。
  - ・火薬をつめ発破により石を岩盤から切り離す。
2. 矢割り  
岩盤から切り離された石に矢を入れて目的の大きさに割る。
  - ・大割・・・150トン程度に割る  
煙硝穴を掘り、火薬で割る  
大矢を入れて、玄能で打って割る
  - ・中割・・・10～15トンのブロックに割る  
チップングハンマーで矢穴をあける。  
中矢を入れて、玄能で割る
  - ・小割・板割り・・・用途に応じて必要な寸法に割る。
3. 玄能回し
  - ・玄能・コヤスケで寸法を決め角を仕上げる。
  - ・ビシャンで、表面を処理する。



ジェットバーナー

### 靖国神社残石



体積=11.0×1.28×1.20=16.896m<sup>3</sup>  
重さ=17×2.6(花崗岩の密度)=44.2t

### 石の聖頭彰碑

畑中平之蒸石像  
江戸末期天保14年に  
豊浦生まれ青年に  
なったころは日本は首  
都建設の土音を響か  
せていた。彼は無尽蔵  
にある石材に目をつけ、  
石材の規格化・量産体  
制・納期厳守という



画期的な体制を整備し、首都建設用資材として石材の供給を開始し、日銀本店建設にあたり多用され北木石のブランド化を達成。今日の隆盛の基礎を築き「石の聖」と称されている。



